

看護研究バックナンバー(内容紹介)

SEP
OCT

Vol.
47
No.
06

特集 | 看護ケアプログラムの体系化に向けて—看護研究と行動分析学

- 看護ケアプログラムの開発—行動分析学の視点から 鎌倉やよい
- 「看護すること(nursing)」を支援する学としての行動分析学—随伴性のアレンジによる行動変容 坂上貴之
- 実験的研究法としてのシングルケースデザイン 石井 拓
- 臨床看護におけるシングルケース研究法の意義—先行研究の概観を通して 飛田伊都子
- [研究1]心臓手術後リハビリテーションにおける運動の自律的調整 廣島香代子, 鎌倉やよい, 深田順子, 梶原智代美, 松浦昭雄
- [研究2]保育園児への歌を用いた手洗い指導プログラムの効果 山内三帆, 鎌倉やよい, 深田順子

●特別記事

オープン・アクセスジャーナルへの投稿時の注意点—学術雑誌からのダイレクトメールに潜む落とし穴 山川みやえ

●連載

統計学のキー・ポイント—「検定」に焦点を当てて・5 割合についての検定 高木廣文
Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑦ 批判的な態度 江藤裕之

JUL
AUG

Vol.
47
No.
05

特集 | 知的財産としての看護研究—研究成果の特許化

- 知的財産としての看護研究—看護研究の特許化を中心に 佐々木明子, 田沼寮子
- 大学等学術研究機関における産学連携活動・知的財産活動の必要性 飯田香緒里
- 研究成果の保護・活用—東京医科歯科大学の知的財産管理体制を踏まえて 渡辺公義
- 看護研究における産学連携・知的財産活動事例 網中裕一

●特別記事

災害看護におけるグローバルリーダーの輩出に向けて—国際誌『HEDN』創刊の意義 坂下玲子

●総説

看護における研究倫理指針の歴史的展開—米国での形成と発展 松井健志, 會澤久仁子
看護研究におけるインターネット調査の利用 古川亮子

●連載

統計学のキー・ポイント—「検定」に焦点を当てて・4 割合についての検定 高木廣文
Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑥ 批判的な態度 江藤裕之

Suppl.

Vol.
47
No.
04

(増刊号)

特集1 | 博士論文を書くということ—あのときの問いといまの問い

博士号の取得までとその後 山本則子／繰り返される対話 池添志乃／問うこと, 追い求めること, 貢献すること 大久保暢子／循環器看護の知識体系を構築していくために 岡田彩子／「学び方を学ぶ」博士後期課程 川名るり／2つの博士課程で学んだ経験 川原由佳里／人々の日々の暮らしと健康へのまなざし 駒形朋子／出帆 高井ゆかり／博士論文を書くことを支えてくれたもの 角田秋／研究のフィロソフィを固めた博士論文 仲上豪二朗／博士論文執筆に取り組む過程で得たソーシャル・サポートと人生を豊かにする姿勢 福井里美／臨床経験からの問いに立ち返り, 社会への還元を考え続けること 三浦英恵／ニューマン・ブラクシス・リサーチに魅了され, 導かれて 三次真理／プロジェクト研究だからこそ得られた学び 森田久美子／研究者としての覚悟を決めた博士論文執筆 山川みやえ／保健師としての経験を活かした博士論文 山崎恭子／博士論文作成過程から得た力 横山由美

特集2 | 研究者が育つ過程—海外にはばたく研究者になるために

- 日本学術振興会の特別研究員事業・海外特別研究員事業について 箕作康志
- 看護学研究発展のために 西沢義子
- 海外特別研究員としての経験から学ぶこと 加藤尚子
- 指導教員として研究者が育つ道をどのように創っていくか 数間恵子

